



あっぱれ! 白保中棒術

久高克己(72)

復帰50周年記念第28回沖繩県中学校総合文化祭に、わが故郷の白保中学校が八重山地区代表として参加が決まり、演目は「棒術」とのこと! 棒術は、白保集落の生年祝いや祭典の席で披露される伝統芸能であり、子どもたちの憧れの演武である。昨年12月10、11日のアィム・ユニバースでここホールでの開催に向けて、私はちむどんどんして待ちわびた。

10日の開催会場は満席で、関係する学校が終了すると、入れ替わりをするほど大盛況であった。いよいよ午後後の出番前にドキドキして待っている間、これまでに見てきた棒術の演武が、目の前で披露されることに胸が高鳴った。

棒術の演武内容は、2人一組で組手の形式で六尺棒を操り、攻撃側・受け手側で対峙し打ち込んだり、蹴りの防御、また中には鎌やなぎなたを操る形もあり、1組約1分間の演武である。

総勢24人10組の演武者の躍動する勇姿を固唾をのんで見て、白保の伝統が脈々と受け継がれていることに、鳥肌が立って涙した。終了と同時に、会場内は万雷の拍手と在沖白保郷友会の皆さんの指笛がピューピューと会場いっぱいに鳴り響き、思わずアンコールと叫びたくなった。出演の各学校、全校生徒52人の白保中学校の皆さん、大きな感動を頂きありがとうございます。白保中の棒術、ブラボ!

(浦添市)